



阿部百合子 (俳優座)
 出身地/福岡県
 主な舞台/「アンネの日記」
 「セールスマンの死」「カ道山」
 「草文」「精霊流し」
 趣味・特技/九州弁、日舞



出身地/群馬県
 主な舞台/「三人姉妹」
 「十二夜」「肥前松浦女人塚」
 「とりあえずの死」「精霊流し」
 趣味・特技/群馬弁、ピアノ



出身地/東京都
 主な舞台/「花咲くチェリー」
 「越前竹人形」「大岡越前」
 「どん底」「おかしな二人」



出身地/神奈川県
 趣味・特技/水泳、バドミントン



出身地/広島県
 主な舞台/「旗本退屈男」「團圓児マンショ」
 「赤ひげ」「鐘」「異域-2002年中津江村より」
 「初代司法卿-江藤新平」他
 趣味・特技/映画鑑賞、HipHopダンス

葵

女の幸せ勝負は死ぬまで掛かる

は
な
ま
っ
り

2004年4月3日HFMSシアターで放送されました。すでに「これは百年を超える近代日本にあって、西の果ての漁村で生まれ死んでいった無名の人間の情念と怨念を描いたものである。言い換えれば近代日本そのものを描こうと志し、見事に成功した作品である。稀なる傑作である」とNHK内で評された作品です。戦後60年、節目の年にノーカットで、舞台版に書き直して上演いたします。

小学校で教師から教頭まで勤めた品のいい老婆である。婿養子の北浦勝彦は同僚の教師だったが、「シベリア出兵」で戦死。西浦ハナは漁村で育ち、いまま魚の行商と「旅籠」の切り盛りをする一人暮らし。かつて「旅籠」に下宿した勝彦の愛人であったと噂されたことがある。

二人の思い出話は一人の男(勝彦)を巡る言葉の喧嘩となっていく。「女の幸せ勝負は死ぬまでかかるとたい」。上品と粗野、知性と情け、理性と感性、世間体と唯我独尊、色白と赤銅色……。やがて、狭くて哀れな男の正体が暴かれる。

キクとハナが10歳のときに日清戦争、20歳・日露戦争、47歳・満州事変、53歳・日華事変(日中戦争)、57歳のとき太平洋戦争が始まった……。

ふとわれに変える二人。「もはや戦後ではなかとたい」「へえ。そしたら、もはや戦前じゃろかい。」

あらすじ

平成17年(2005年)春。西の果ての郷土史研究家西浦耕介(60歳)が回想している。昭和32(1957)年。「もはや、戦後ではない」が流行言葉となった4月8日浄土寺の花祭。北浦キク(73歳)と西浦ハナ(73歳)が戦後初めて出会った。二人は明治17(1884)年生まれ。「寺子屋のごたる学校」の同級生だった。北浦キクは女子師範を出て、

解説

夏の『精霊流し』(1980)、秋の『秋日和』(2000)、冬の『鬼火(舞台は岡山)』(1993)と、戦後日本の四季を強靱な台詞術を駆使して描いてきた劇作家・岡部耕大が最終章の春に挑みました。この作品はNHKのラジオドラマとして

○STAFFO 作・演出/岡部耕大 美術/寺岡崇 音楽/園田容子 照明/西尾憲一 音響/斎藤英士 衣裳/松竹衣裳 宣伝美術/岡部萌子 写真/山本悟正 演出助手/中嶋順也 舞台監督/上林英昭

開場	20水	21木	22金	23土	24日
13:30				★	★
14:00					
18:00	★	★	★		
18:30					

3/14日発売開始 全席指定

- 一般 4,500円
- ペアチケット (要予約・岡部企画扱い) 8,500円
- グリーンチケット (18歳以下・岡部企画扱い) 2,500円

お問い合わせ・前売り

- 岡部企画 044-933-9754
- 電子チケットぴあ 0570-02-9988
- イープラス eee.eplus.co.jp (パソコン・携帯)
- キノチケットカウンター 新宿東口紀伊國屋書店5F (店頭販売のみ 10:00~18:30)

2005年4/20水 ▶ 24日

新宿東口 紀伊國屋ホール 紀伊國屋書店 新宿本店 4階

■「新宿」駅東口下車 徒歩5分 ■地下鉄丸の内線、都営新宿線「新宿三丁目」駅下車 B7・B8出口
 TEL 03-3354-0141

■企画・制作/岡部企画
 TEL.044-933-9754 〒214-0031 神奈川県川崎市多摩区東生田1-12-7
 URL http://www3.plala.or.jp/koudai/ e-mail ko@lilac.plala.or.jp

